

県政報告

広島県議会2月定例会は2月20日から3月17日までの27日間の日程で開催され、令和2年度当初予算、令和元年度2月補正予算、新型コロナウイルス感染症緊急対応予算及び条例等が審議されました。

令和2年度 施策及び事業の基本的な考え方

創造的復興による新たな広島県づくり

- ◇ 平成30年7月豪雨で被災された住民の皆様の一日も早い日常の回復が図られるよう、復旧・復興プランに基づき、「安心を共に支え合う暮らしの創生」「未来に挑戦する産業基盤の創生」「将来に向けた強靱なインフラの創生」「新たな防災対策を支える人の創生」の4つの柱により、被災者の方々の生活再建と、県民生活や経済活動の日常を取り戻す取組、公共土木施設等の早期復旧など、速やかな復旧・復興に引き続き全力で取り組みます。
- ◇ さらに、単なる原状復旧に留まらず、この度の災害を起点として、被災前よりも更に良い状態に県全体を押し上げていくよう、創造的復興による新たな広島県づくりを成し遂げます。

欲張りなライフスタイルの実現へ

- ◇ チャレンジビジョンの最終年において、経済成長や人材の育成など、これまでの取組で現れてきた成果や、新たに育ちつつある成長の芽を県民の皆様により実感いただけるよう、更なる成果の獲得に向けて取り組みます。また、県民ニーズを踏まえ、対処すべき課題や社会環境の変化にも対応することで、欲張りなライフスタイルの実現を図っていきます。
- ◇ とりわけ、新たな潮流として、急速に開発が進むデジタル化社会の到来へ向けて、先端技術やビッグデータを活用して様々な社会課題の解決と県勢発展を目指すデジタルトランスフォーメーションを推進します。県内全域で、デジタル技術の恩恵を享受することにより、県民生活や県内企業が、様々な面でより良い方向に向かう社会の実現を目指します。
- ◇ また、グローバル化が一層進展する中、増加が見込まれる外国人の円滑な受入と定着に向けて、就労環境と生活環境の両面から必要な取組を総合的に実施します。企業において、外国人が活躍でき、外国人にとって住みやすい地域となることで、外国人から選ばれる広島県を目指します。

《令和2年度 一般会計当初予算の概要》

令和2年度当初予算：**1兆905億円**（前年度比+354億円）

（国の補正予算を活用した令和元年度2月補正予算**103億円**と一体で編成）



令和2年度当初予算+令和元年度2月補正予算：

1兆1,008億円（前年度比+457億円）

《令和2年度 重点施策への集中的な取り組み》

■ 創造的復興による新たな広島県づくり 1,087億円

4つの柱		事業費	
		令和2年度 当初予算	令和元年度 2月補正予算
安心を共に支え合う暮らしの創生	3億円	3億円	—
未来に挑戦する産業基盤の創生	185億円	185億円	5百万円
将来に向けた強靱なインフラの創生	891億円	846億円	45億円
7月豪雨災害対応(被災地域等)	571億円	555億円	16億円
防災・減災対策	320億円	291億円	29億円
新たな防災対策を支える人の創生	5億円	5億円	—
その他(応急対策等)	3億円	3億円	—
計	1,087億円	1,024億円	58億円

■ 欲張りなライフスタイルの実現(主要事業) 264億円

施策体系		事業費	
		令和2年度 当初予算	令和元年度 2月補正予算
デジタルトランスフォーメーションの推進	3億円	3億円	—
希望をかなえるための後押し	98億円	67億円	31億円
ゆとりの創出	145億円	145億円	34百万円
地域活力の基盤づくり	8億円	8億円	—
暮らしを楽しむ機会の創出	5億円	5億円	—
広島の価値の共鳴・共振	6億円	6億円	—
計	264億円	233億円	31億円

《新型コロナウイルス感染症緊急対応予算の概要》

令和元年度3月補正予算：19億円

主な事業

- **感染拡大防止策と医療提供体制の整備** 407百万円
医療施設や介護施設等における感染拡大防止策、PCR検査体制の強化
- **事業活動の縮小や雇用への対応** 382百万円
中小・小規模事業者に対する支援、観光業への対応
- **学校の臨時休業に伴って生じる課題への対応** 688百万円
個人向け緊急小口資金等の特例、放課後デイサービス等の体制強化等、学校給食休止への対応、テレワーク等の推進 など

■ 条例

【新設】

- 知事等の損害賠償責任の一部免責に関する条例 等 (3件)

【改正】

- 広島県プレジャーボートの係留保管の適正化に関する条例の一部を改正する条例 等 (22件)

【廃止】

- 広島県輸出向生鮮冷凍かき処理業者登録条例を廃止する条例 (1件)

■ その他議案

- 工事請負契約の締結について 等 (9件)

■ 180条専決処分報告

- 訴えの提起について 等 (3件)

■ 報告事項

- 請願の処理の経過及び結果報告 (1件)

■ 意見書

- 新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書
- 中小企業・小規模事業者に対する支援のさらなる充実を求める意見書

令和2年度 福山市関係の予算措置状況

～134億円規模の予算化が決定～

- 福山市関係の令和2年度の予算措置総額は、134億円余となりました。
妊娠・出産・子育てのワンストップ相談・支援窓口である「ひろしま版ネウボラ」のモデル事業への継続支援、鞆地区のまちづくりに向けた山側トンネルの設計・工事や道路拡幅工事などを県・市が連携・協力して進めます。
- また、市の「福山駅前再生ビジョン」の実現や、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興など、県と市が共有する課題に連携して取り組みます。

【福山市関係予算措置状況】

区 分	予算措置額	主 な 事 業
地域振興関係事業	13億8,884万円	鞆地区の振興、離島航路運航への支援、生活交通確保への支援、福山駅前再生支援
医療・福祉・環境関係事業	7億8,789万円	子育て支援・放課後児童クラブ補助、保育対策・認定こども園補助、小児救急医療体制の確保、小型浄化槽設置助成 等
商工関係事業	588万円 (別途、観光振興助成)	商工会議所補助、観光振興
土木関係事業	91億4,470万円	道路、河川、砂防、海岸、港湾、住宅 等
農林水産関係事業	10億1,162万円	ため池改修、基盤整備、山地治山、保安林整備、ひろしまの森づくり事業 等
教育・文化関係事業	7億5,142万円	県立学校の施設整備、福山城築城400年記念行事への負担金、歴史博物館・少年自然の家運営費、文化財保存補助
その他	3億1,416万円	箕島地区土地造成、下水道事業・水道用水供給事業、交番・駐在所整備事業
合 計	134億450万円	

※予算額は、端数処理により合計と一致しない場合がある。

詳しい情報は
次頁を参照ください！

令和2年度当初予算 及び 令和元年度2月補正予算（国補正関連）

【福山市関係分の主要施策】

（単位：千円）

区分	施策	予算額	備考
地域振興	鞆地区の振興	1,343,846	まちづくりの寄附募集(地域政策局所管) 町中の交通処理対策(土木建築局所管) 防災対策(土木建築局所管)
	離島航路運行への支援	15,578	走島～鞆航路
	生活交通確保への支援	6,000	市が自主運行するバス路線への補助
	都市圏魅力の創造	23,414	福山駅前再生支援
医療・福祉・環境	小児救急医療体制の確保	13,355	小児科輪番制の受入体制確保(4病院交代制)
	看護師養成所の支援	63,012	運営費補助(2か所)
	がん対策の推進	18,000	がん診療連携拠点病院(3病院)への補助
	回復期病床の整備	116,000	病床転換に要する経費に対する補助(1か所)
	市町子育て支援・放課後児童クラブ事業	383,570	ひろしま版ネウボラ、地域子育て支援拠点等事業への補助
	社会福祉施設の整備	12,211	放課後児童クラブ等の施設整備の補助(3か所)
	保育対策・認定こども園整備	128,231	延長・病児保育、認定こども園整備への補助
	小型浄化槽設置整備	24,480	市の浄化槽個人設置助成事業への補助
その他 補助・助成事業	29,030	感染症予防、不法投棄防止、外国人受入助成 等	
商工	福山商工会議所への補助	5,875	運営費及び事業補助
	観光振興	(21,000千円の内数)	市・民間事業者等への支援(市の予算額に応じ助成)
インフラ整備(公共事業)等	公共事業(土木)	9,144,704	道路～国道182号、福山沼隈線、新市七曲西城線 河川～改修(手城川等)、堰堤改良(四川ダム) 砂防～急傾斜地崩壊対策(宮本、久松台)など 海岸～海岸保全施設(一文字地区、機織地区) 港湾～港湾補修(箕島)、港整備(岩船) 住宅～県営住宅(南泉住宅等) 漁港～改修・集落環境整備・施設整備(走、横田、箱崎)
	公共事業(農林) (東部農林事務所管内分)	993,919	基盤整備～高屋川、神辺、箕島等 山地治山～福田、後山 保有林整備～本郷 治山激甚被害対策～福山市、沼隈町 ため池改修等～福山市(川原山地、井溝)等
	ひろしまの森づくり事業	17,700	里山林の保全等に対する福山市への交付金
教育・文化	県立学校施設の整備	540,544	松永～埋設給水管改修工事等 福山葦陽、大門、福山明王台～内壁等改修工事 福山工業～内外部改修工事 福山商業～内部改修工事等 沼隈特支～トイレ改修工事 沼南～崖地等安全対策工事等 神辺～屋上防水工事等 など
	文化事業	2,500	福山城築城400年記念行事への負担金
	各種運営費 等	208,376	歴史博物館、少年自然の家、文化財保存補助
その他	箕島地区土地造成	168,332	雨水排水路工事等
	下水道事業・水道用水供給事業	142,942	芦田川浄化センター砂ろ過設備改築工事等
	交番・駐在所整備事業	2,882	福山東警察署引野交番建替設計

注) 予算額、実施箇所は変動する可能性があります。

福山市域の浸水対策

～再度災害の防止に向けた対策を進めます～

- 平成30年7月豪雨により、福山市域では多くの河川の破堤や越水により、約2,000haの浸水と2,000棟を超える床上・床下浸水など甚大な被害が発生しました。
- 国、県、福山市では、浸水対策に係るロードマップを取りまとめ、河道の掘削や管理強化、排水機整備などの再度災害防止の取り組みを計画的に進めています。

吉野川の復旧状況



〔平成30年7月 被災状況〕



〔平成30年12月20日 完成〕

《古市排水機場の整備》

- 高屋川の堤防に囲まれた地域で多くの浸水被害が発生したため、古市排水機場のポンプ能力を増強することとしています。
- 事業費は約5億円で、令和3年6月までの完成を目指し、現在、事業に着手しています。



〔古市排水機場〕



〔完成までの期間設置している仮設ポンプ〕

県政トピックス③

県立学校のICT環境の充実 ～GIGAスクール構想の実現に向けて～

- 国は、児童生徒1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するための「GIGAスクール構想」を打ち出しました。
- これを受け、県教育委員会では、ICTを活用した効果的な教育を実現するため、すべての県立学校に高速大容量のネットワーク環境を整備することとしました。（令和元年度2月補正予算：30億9千万円）
- 併せて、生徒1人1台のPC端末の導入（保護者負担）を進めることとしており、令和2年度は35校の県立高校（福山市内では、福山誠之館、福山葦陽、松永、沼南、福山明王台、神辺旭、神辺、戸手）が先行して導入することとしています。経済的に困難な家庭（非課税世帯）には、端末購入費用等に対する給付制度（広島県学びの变革環境充実奨学金）も創設しています。



県政トピックス④

監査委員制度 ～独立した機関として県の事務を監査しています～

- 県議会は、条例の制定・改廃や予算などを議決するほか、質問・質疑をはじめとして知事に対する監視機能の役割を担っていますが、県には、事務の執行や決算などを監査する、監査委員（4名）が置かれています。
- 監査委員は、県の行財政の執行が最少の経費で最大の効果を挙げているか、組織及び運営の合理化に努めているかなどの観点から監査を行っています。私も令和元年5月から監査委員として、県行政に対して是々非々で臨んでいます。



（広島県歳入歳出決算審査意見書を知事に提出 令和元年9月11日）

